

腸管気腫症を腹部超音波検査で疑われた一例

内藤 淑子^{1),2)}, 小山 洋一¹⁾, 柴田 隆夫¹⁾,
高松 泰²⁾, 藤光 律子³⁾, 田村 和夫²⁾

¹⁾ 村上華林堂病院 内科

²⁾ 福岡大学病院 腫瘍血液感染症内科

³⁾ 福岡大学病院 放射線科

要旨：併存症として高血圧，慢性心房細動があり，既往歴に脳梗塞のある 88 歳の女性が突然の腹痛と下血を主訴に来院した．腹部エコーにて腸管壁に点状から線状の高エコー領域を認め腸管壁内のガス形成が示唆された．腹部 CTにてその所見を確認し腸管気腫症と診断した．腸管壁内のガスを認識するのに腹部エコー検査は有用である．

キーワード：腹痛，腹部エコー，高エコー領域，腹部 CT，腸管気腫症